

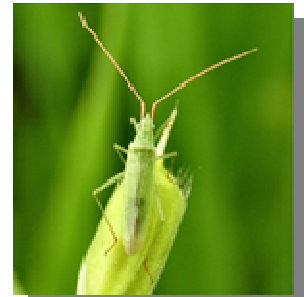
7/12 斑点米カメムシ類 注意報発表！ 地域全体で防除前の除草を徹底しましょう！



アカスジカスミカメ

アカスジカスミカメ、
アカヒゲホソミドリカスミカメともに

発生多い！



アカヒゲホソミドリカスミカメ

被害を防ぐには、防除前に「**広域で！一斉に！草刈り徹底！**」

- ・畦畔や農道の斑点米カメムシの密度が非常に高い状況です。防除前に草刈りを徹底し密度低減を図りましょう！
- ・**2回の基本防除（穂揃期と穂揃期7～10日後）を徹底する**
- ・例年、斑点米カメムシ類の被害が多い場合には、補完防除（2回目の7～10日後）の実施を検討しましょう！
- ・畦畔・農道等、水田周辺の草刈りを、やむを得ず行う場合は、防除直前に実施しましょう

葉いもちが各地で確認されています！ 早期発見・早期防除に努めましょう！

- ・葉いもちの発生が各地でみられます。
葉いもちは穂いもちの発生に直結します。ほ場をよく観察し、早期発見・早期防除に努めましょう！

発生を確認した場合 → **直ちに治療効果のある薬剤で防除！**
※特別栽培の場合、農薬の使用計画に沿った薬剤で防除を行いましょう。



穂いもち

◎熱中症や農作業事故に注意

暑い日が続く予報となっています。農作業は、休息をとりながら、水分や塩分の補給を十分に行いましょう。

中干し後は間断かん水で根の活力維持！

○中干し後は根の活力維持！

- ・中干し終了後は走り水→飽水管理→間断かん水（2日湛水・2日落水）に切り替え、徐々に間断かんがいに移行し、急激な酸化・還元の変化による根腐れを防止します。

○低温時は下記の対応を取り、被害を最小限に留めましょう！

「前歴深水管理」 出穂25日前頃から10cm程度の深水にしましょう。

「穂孕み期の低温時水管理」 …出穂前14～7日は最も低温により障害不稔を生じやすいため、最低気温17℃以下の低温が予想される場合には深水管理を行い、幼穂を保護しましょう。

※深水管理にはあらかじめ畦畔のかさ上げや漏水防止、用水の確保が必要となります。

○7月8日現在の生育状況

- ・7月8日現在の生育は、草丈は長く、茎数は平年並～やや多く、葉数、葉色は概ね平年並の状況です。
- ・出穂期は平年より2日程度早い予想です。

「はえぬき」の生育

項目	川西町(移植5/19)	
	調査値	平年比(差)
草丈(cm)	59.1	107
茎数(本/m ²)	699	97
葉数(L)	9.9	-0.1
葉色(SPAD)	43.8	+0.3

「つや姫」の生育

項目	川西町(移植5/20)	
	調査値	平年比(差)
草丈(cm)	58.2	110
茎数(本/m ²)	551	105
葉数(L)	10.2	+0.1
葉色(SPAD)	43.3	+1.0

「雪若丸」の生育

項目	高畠町(移植5/17)	
	調査値	指標比(差)
草丈(cm)	48.8	94
茎数(本/m ²)	625	101
葉数(L)	11.1	+0.7
葉色(SPAD)	46.2	+5.2

1か月予報(7/8 気象庁発表)

気温	7/10～7/16	高い
	7/17～7/23	高い
	7/23～8/6	平年並
降水量	7/10～8/9	平年並
日照時間	〃	平年並

◎山形県農薬危害防止運動実施中（実施期間6月1日～8月31日）

農薬使用基準（収穫全使用日数、使用回数など）を遵守し、また、周辺ほ場の農作物や住宅地等への飛散にも十分留意しましょう